

小学校第3学年 造形遊びをする活動と、相互に関連する鑑賞の活動

【学習の方向性】	○材料や場所などを基に造形的な活動を思い付き、工夫してつくる。 ○活動したことや表現したもののよさや面白さなどを感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる。 【A表現(1)ア(2)ア】【B鑑賞(1)ア】【共通事項】
【題材名】	<p style="text-align: center;">クミクミックス</p> <p style="text-align: center;">～ダンボールびじゅつ館へようこそ～</p>
【題材目標】	○段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かり、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくるようにする。 ○形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもち、段ボールや場所などとともに造形的な活動を思い付くことや新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えるとともに、段ボールの板を組み合わせでできた造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げるようにする。 ○進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養うようにする。

【題材の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどに分かっている。 ・前学年までの経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段ボールの板や組み合わせた形などを基に自分のイメージをもちながら、造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。 ・段ボールの板を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 	つくりだす喜びを味わい、進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

本題材における〔共通事項〕の捉え

- ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。
- イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

自分の感覚や行為を通して、段ボールを切ったり、組み合わせたりしてできた形や組み合わせの感じが分かり、自分のイメージをもつ。

	活動	具体化した評価の例 【評価方法】	知・技	思・判・表	主体的
1	○材との出あい。 ○段ボールを切る、組み合わせることを楽しむ。 ○組み合わせることができる段ボールの形や大きさの感じを見付ける。	知・技 ・段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。 ・前学年までの経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。 【観察・写真記録】	●	●	●
2	○段ボールを切る、組み合わせることをさらに楽しむ。 ○活動したことをお互いに見合う。	思・判・表 ・段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。 ・段ボールの板を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さ、造形的な活動、いろいろなつくり方、などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。 【観察・写真記録】 主 つくりだす喜びを味わい、進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。【観察・写真記録】	●	●	●

研究内容についてのふりかえり

1. 「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメント

○本題材における3つの工夫がどうだったのか

・出あいの工夫

活動場所の四隅に段ボールを重ねて置いておいた。児童の活動を予想し、「切る」「やぶる」「組み合わせる」のキーワードを示した。組み合わせの意識をもたせるために、切込みの方法を指導した。活動に入る時に、「リサイクルや家にあるもの、捨てられそうなものが何かに変身したら面白いね」という意識をもたせ、気持ちが高揚するように事前の声掛けをもっと考えておくべきだった。

・場の設定の工夫

活動場所は、教室よりもやや大きな多目的室とした。個人で活動したり、グループの児童と協力して活動したりすることもでき、また、他のグループの様子も近くで見られることを考え、この場所とした。

・共感的支援の工夫

板書にある「切る」「やぶる」「組み合わせる」という動作を繰り返し行い、何度も試したり友達と声をかけ合ったりして行う様子が見られた。「深く切り込みを入れると立ちやすいよ。」「ここに切込みを入れると飛行機に見えるよ。」などつぶやきの言葉を価値づけ、組み合わせることの楽しさを感じられるようにした。

2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善における子どもの変容

○主体的・対話的な学びのための授業改善の視点

段ボールをいろいろな大きさに切ったり、段ボールの板を組み合わせたりするために、切込みの深さを考え、友達と話し合いながら何度も試しながら、活動を進めていた。組み合わせの方法も、いろんな方向に組み合わせたり、大きいもの小さいものそれぞれ自分のつくりたいものに合う感じに自由につくったりしていた。題材名を～ダンボールびじゅつ館へようこそ～としていたので、もう少し時間をとって鑑賞の時間を設けた方がよかった。他の友達からの見方が、新たな発見につながったのかもしれない。

【児童の振り返りより（一部抜粋）】

- ・○○さんの段ボールに切りこみを入れて強どを強くしたのがいいアイデアだと思った。
- ・段ボールだけで組み合わせるのが楽しかった
- ・組み合わせるだけでも結構がじょうだった。全然くずれなかった。
- ・上手く組み合わせられなかったら2まいとも切りこみを入れたらいいかなと友達と話し合って上手くいってよかった。
- ・やぶって小さくしたり、重さを考えたりしてバランスを考えてやった。
- ・どうすれば安定するのか、むずかしかった。